

農研機構シンポジウム開催

「ICT技術の開発と実用化に向けてー農業情報の共通化・標準化ー」

1. 開催趣旨：

農業における ICT 技術の利用が進むにつれ、異なるシステム（ソフトウェア、ハードウェア、セクター、地域等々）間の情報交換や連携等の困難さが大きな問題となってきた。これは、農業用語（コンテンツ）の概念からソフトウェア・ハードウェアの通信様式（API：Application Program Interface）など幅広い段階で共通化・標準化が進んでいないことに大きな要因がある。この状況が続くと特定ベンダーによる農家（農業データ）の囲い込みや将来的には農業ビッグデータの解析が困難になるなどの問題が懸念されている。一方、世界各国や他分野における情報の共通化・標準化の先行事例と整合性をとり農業情報の共通化・標準化を進めることで、分野横断的なデータ利用による新たな知見抽出やサービス創出の可能性がある。昨年策定された「農業情報創成・流通促進戦略」の中でも、農業情報の相互運用性・可搬性の確保に資する標準化や情報の取扱いに関するガイドライン等の作成を行うこととされている。

今回の農研機構シンポジウムでは、このような情勢を踏まえたうえ、農研機構における農業 ICT とくに共通化・標準化に関する研究の現状を報告するとともに、わが国における共通語彙基盤に関する研究や活用の現状、農林水産省における標準化に係わる検討状況を報告いただくことにより、農業情報の共通化・標準化へ向けた研究推進体制や問題点を討議する。

2. 日時：平成 27 年 3 月 12 日（木）13:00～17:00

3. 開催場所：秋葉原コンベンションホール 5B

（〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-18-13 秋葉原ダイビル 5 階）

4. 主催：(独) 農業・食品産業技術総合研究機構

5. プログラム

| | | | |
|-------------|------------------------------|-----------------------|-------|
| 13:00～13:10 | 挨拶 趣旨説明 | 農研機構中央農業総合研究センター | 渡邊朋也 |
| 13:10～14:10 | 基調講演「分野横断的に利用可能な共通語彙体系とその活用」 | 国立情報学研究所教授 | 武田英明 |
| 14:10～14:40 | 「農業における標準化に係わる検討状況」 | 農林水産省大臣官房評価改善課情報室課長補佐 | 中谷康則 |
| 14:40～15:10 | 「農業 IT 分野における標準化・共通化の取り組み」 | 農研機構中央農業総合研究センター | 吉田智一 |
| 15:10～15:40 | 「稲作語彙体系構築に向けて」 | 農研機構中央農業総合研究センター | 竹崎あかね |
| 15:40～16:00 | 休憩 | | |
| 16:00～16:30 | 「作業技術分野における標準化の取り組み」 | 農研機構中央農業総合研究センター | 元林浩太 |
| 16:30～17:00 | 総合討議 | | |

5. 参集範囲：農業 IT 関連企業、農林水産省、大学、独立行政法人および都道府県研究者等
(定員 100 名程度を予定)

6. 事務局：(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター 情報利用研究領域
林 武司（〒305-8666 茨城県つくば市観音台 3-1-1）
phone: 029-838-7176 email: hayatk@affrc.go.jp

農研機構シンポジウム

「ICT技術の開発と実用化に向けて－農業情報の共通化・標準化－」

参加申込について

本シンポジウムに参加を申し込まれる方は、下記宛てに E-mail にてお知らせください。
その際に、氏名と所属（連絡先）を明記してください。
会場準備の都合により、**申込締め切りは2015年3月6日（金）**とさせていただきます。

記

参加申し込み E-mail アドレス：hayatk@affrc.go.jp